

RICOH REPORT

2025  冬号

RICOH
imagine. change.

証券コード：7752

| | | |
|----------|---|-------------|
| Contents | 1 | 株主の皆様へ |
| | 3 | 業績ハイライト |
| | 4 | トピックス |
| | 5 | 株主様向け企画のご案内 |
| 裏表紙 | | 株主メモ |

株主の皆様へ



オフィスサービスにおける 利益成長を軸に デジタルサービスの会社への 変革を加速させ、 企業価値の向上を目指します

代表取締役
社長執行役員・CEO 大山 晃

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

世界経済は、緩やかな回復基調を維持したものの、ロシア・ウクライナ情勢および中東情勢などの地政学リスクや、各国の金融政策の不確実性に加え、米国を中心とした通商政策の動向が引き続き経済に影響を与えています。このような状況の中、2025年度上期の売上高は1兆2,224億円となり、前年同期比で1.7%増加しました。

オフィスプリンティング事業では主にノンハードの弱含みに加え、米国の関税政策の影響を受けハードの売上高が減少しました。しかしながら、2024年7月に設立した東芝テックとの開発・生産に関する合弁会社エトリアによるシナジー効果の創出や、オフィスサービス事業の伸長などもあり、全社の売上高は増収とな

りました。

地域別で見ると、国内はPCリプレイスにあわせた導入・構築・運用保守サービスや情報系アプリケーションの契約獲得が好調で、オフィスサービス事業を中心に売上高が前年同期比で12.5%増加しました。

海外は、欧州において買収会社との協業によるシナジー創出は着実に進展しているものの、景況悪化の懸念からITインフラの売上が鈍化しました。米州においても関税影響など先行きの不透明感からオフィスプリンティング事業や商用印刷事業におけるハードへの投資が伸びず、売上高は前年同期比で4.6%減少となりました。

当社は、デジタルサービスの会社として相応しい収益構造への転換を行い、持続的な成長を図る「企業価値向上プロジェクト」を2023年度から進めています。

上期はこれまでの施策効果の刈り取りとともに「事業の選択と集中」の一環で2事業の譲渡と1事業の終息を行い、更なる成長に向けリソースをシフトしていきます。

通期の業績見通しは売上高2兆5,600億円、営業利益800億円から変更ありません。米国関税政策の影響については引き続き動向を注視し、事業環境の変化に応じた必要な対応を機動的に実施し、影響の低減に努めます。

デジタルサービスの会社への変革を進める上で、オフィスサービス事業の成長をさらに加速させることが不可欠です。当社は、これまでオフィスプリンティング事業に軸足を置き成長してきたことで世界に140万社の顧客基盤を有しています。また、そこで蓄積してきた知識・ノウハウを活かし、さまざまな業種・業務に携わるお客様が抱える課題を解決することで、グローバルの顧客接点で信頼関係を築いています。この顧客接点も、当社の大きな競争優位性のひとつとなっています。さらに、お客様の課題に寄り添いながら開発してきたデバイスやソフトウェアなどの自社IPも強みです。自社IPの強化に関する取り組みとしては、AIによ

る提供価値の拡充があります。大規模言語モデル(LLM)に加え、図や表、グラフなどにも対応するマルチモーダル大規模言語モデル(LMM)を活用したデジタルクローンやAIエージェントを提供することで、バックオフィスから営業部門までの生産性向上に貢献します。

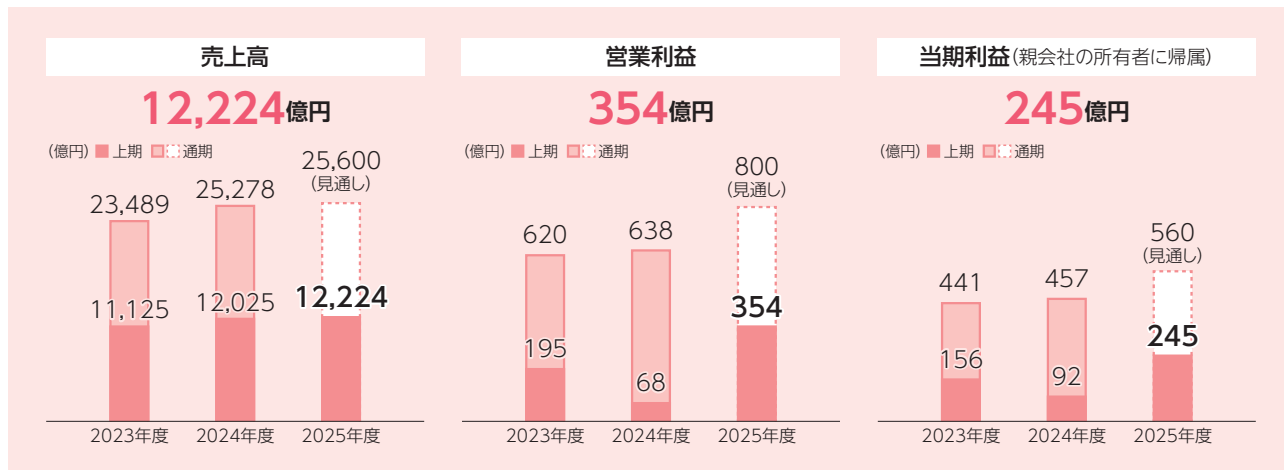
2025年度は2023年4月にスタートした第21次中期経営戦略の最終年度となります。これまでの成果を振り返るとともに、持続的な企業価値向上に向けて取り組むべき課題について議論を進めています。今後の成長に向けては、オフィスプリンティング事業の収益力を維持しつつ、成長事業に位置づけているオフィスサービス事業および商用・産業印刷事業のストックビジネスの成長を加速させることが重要です。引き続き、社員一人ひとりがお客様の“はたらく”に寄り添い、提供価値を高めるため自律的にスキルを磨くことで、社員とともに成長する会社を目指します。

株主・投資家の皆様のご期待に応えられるリターンを着実に創出できるよう、今後も企業価値の向上に全力で取り組みます。株主の皆様には倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2025年度上期決算のポイント

- 米国関税政策の影響や海外の景気不透明感の中、オフィスサービス事業の成長と経費コントロールなどにより、増収増益
- 2025年度の業績見通しに変更なし。事業環境の変化に応じて必要な対応を機動的に実施していく
- 総還元性向50%を目安に継続的な増配と機動的な追加還元策を実施していく方針を維持し、中間配当金20円

業績ハイライト (2025年4月1日～2025年9月30日)



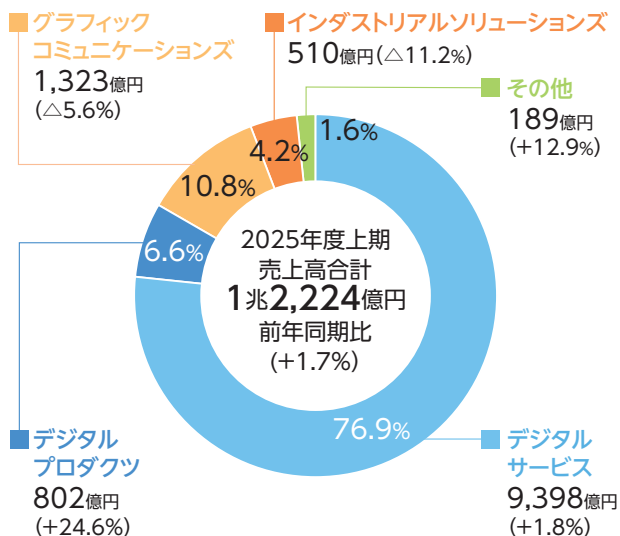
業績ハイライト 詳しくはこちらをご覧ください ▶

<https://jp.ricoh.com/IR/library/selected-consolidated-financial-data>

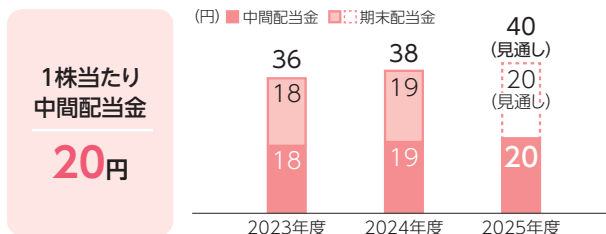


事業別売上高 ※外部顧客向け

売上高 (前年同期比)



1株当たり配当金



総還元性向*50%を目安とした上で、配当利回りを意識し、毎年利益拡大に沿った継続的な増配を目指します。今後も経営環境や成長投資の進捗も踏まえて、最適資本構成の考え方にに基づき、機動的かつ適切なタイミングで自己株式取得も実施しながら、企業価値最大化を目指してまいります。

*総還元性向：(配当支払総額+自社株買い総額)÷純利益×100

トピックス

成長領域 ①

プロセスオートメーション

先進的なAI技術を活用したSaaSプラットフォーム「RICOH Intelligent Automation」を開発

「RICOH Intelligent Automation」は、AI技術を活用し、業務上のさまざまなドキュメントから情報を抽出・読み取るインテリジェントドキュメント処理に加え、基幹システムなど他のシステムやサービスと連携し、データの保存・活用まで、業務プロセス全体を統合・自動化するSaaS型のプラットフォームです。今後のグローバルでの展開を見据え、既存のお客様へ試験的なサービス提供を開始し、世界中のお客様の業務革新と、より付加価値の高い働き方の実現を支援します。

詳しくはこちらをご覧ください ▶

https://jp.ricoh.com/release/2025/1028_1



成長領域 ②

ワークプレイスエクスペリエンス

欧州・北米で提供している「RICOH Spaces」を日本で提供開始

「RICOH Spaces」は、会議室の予約、フリーアドレスのオフィスにおける座席の予約、来客の受付管理などを効率化し、はたらく人によりスマートで働きやすいオフィス環境を提供するプラットフォームです。

会議室や座席の活用状況データを蓄積・見える化し、オフィスの使い方の改善へつなげることが可能です。ハイブリッドワーク時代に求められるオフィスの空間マネジメントを通じ、新たなワークプレイスエクスペリエンスを提供、はたらく人の創造力の発揮を支援します。

詳しくはこちらをご覧ください ▶

https://jp.ricoh.com/release/2025/0701_1



ESG トピックス

「リコーグループ統合報告書 2025」、「リコーグループサステナビリティレポート 2025」、および「リコーグループESGデータブック 2025」を発行

サステナビリティ活動への関心の高まりや情報開示拡充への期待を踏まえ、リコーグループの中長期の展望や企業価値向上に向けた取り組みの全体像、環境・社会・ガバナンスに関する具体的な取り組みや実績データなどの詳細情報を掲載しています。

2025年度は、「リコーグループ環境報告書」を拡充し、環境および人権分野の情報開示を強化した「リコーグループサステナビリティレポート」として新たに発行しています。今後も積極的な情報開示を進め、リコーグループへの理解を深めていただくとともに、経営品質を向上し、事業成長を図ることで、さらなる企業価値向上に努めます。

詳しくはこちらをご覧ください ▶ https://jp.ricoh.com/info/2025/0905_1



オンデマンド動画配信：デジタルサービス ～AIの活用に

当社は、「デジタルサービスの会社」への変革を進める上で、お客様の“はたらく”の変革に貢献するために、AIの活用による新たな価値提供を積極的に進めています。その取り組みについて、株主の皆様幅広くご視聴いただけるようオンデマンド動画配信します。

ご覧いただくには、**事前のご登録が必要となります**ので、右記ページの「ご登録方法」をご参照の上、ぜひご登録ください。

配信予定日に公開後、ご登録いただいた株主パスポートもしくはメールにて通知します。

対象者

当社株式 1単元(100株)以上
保有の株主様

配信予定日

2026年1月30日(金)
(前後する場合があります)



情報発信のデジタル化

当社は、「デジタルサービスの会社」への変革を進めています。
今後は、当社ウェブサイトや「株主パスポート」アプリなどのデジタルツールを通じた株主の皆様への情報発信を強化してまいります。
また、「株主パスポート」を活用することで、株主総会へのバーチャル出席や議決権行使、配当金・決算情報などもご確認いただけます。
同封の「株主パスポートご登録のお願い」をご参照の上、ぜひご登録ください。

議決権
行使が
可能

配当金
情報を
確認できる

株主総会に
バーチャル
出席できる



 株主パスポート
KABUNUSHI PASSPORT

(基準日:2025年9月末)

よる新たな価値提供～

単元以上株主様 事前登録制

ご登録方法 下記①もしくは②の方法でご登録ください。

① 株主パスポートのご登録

同封の「株主パスポートご登録のお願い」をご参照の上、ご登録ください。

*既に「株主パスポート」をご登録の株主様はご登録の必要はありません

お勧め



② メールアドレスのご登録

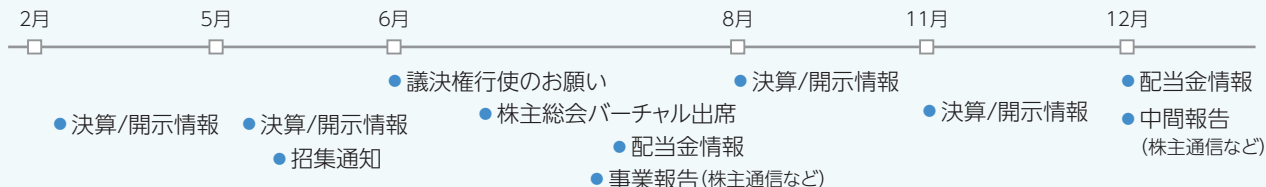
QRコードを読み取り、メールアドレスをご登録ください。



URL https://webform.ricoh.com/form/pub/e00034/ir_event

ご登録締切 2026年1月16日(金)24時まで

株主パスポート 情報発信イメージ 「株主パスポート」を通じて、以下のご案内を行う予定です。



IRウェブサイト 「株主・投資家情報」

「リコー IR」で検索

リコー IR

決算情報や中期経営戦略、株主総会情報など最新のIR情報をご確認いただけます。



株主メモ

| | |
|-------------------|--|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 単元株式数 | 100株 |
| 定時株主総会 | 毎年6月下旬 |
| 基準日 | 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 |
| 株主名簿 管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先 (電話照会先) | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL (0120) 782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の 全国各支店で行っております。 |

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、特別口座にて株式を管理されていらっしゃる株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 「配当金計算書」について
配当金お支払いの際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。
- 「配当金領収証」の送付について
従来、配当金のお支払金額が5万円以上の場合に簡易書留で郵送させていただいておりましたが、2020年9月30日基準の中間配当金の送付より、配当金のお支払金額が10万1円以上の場合に簡易書留での郵送とすることに变更させていただきます。

株式会社リコー



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



*QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
[表紙写真] 使用カメラ: PENTAX K-1 Mark II 撮影: 安念余志子 撮影地: 長野県霧ヶ峰高原